

被ばくしたのは第五福竜丸だけじゃなかった？
11年にわたる継続取材・3年前すでに映画化！

『放射線を浴びたX年後』

昨秋より、厚労省でこれまで無いとされてきた文書開示や、それを受けての追跡調査の可能性が報じられるなど、1954年に南太平洋でおこなわれた水爆実験による被害とその後注目が集まっています。この事件について、11年以上前から継続取材報道に取り組んでいる南海放送では、その貴重な蓄積をまとめ2012年にすでに「放射線を浴びたX年後」として映画化、いま、再び注目を集めています。



このたび、いわゆるビキニデーといわれる3月1日、そして核や放射能問題に関心が高まる3月を目前に、東京都内の二カ所で、いまなお取材報道を続ける伊東英朗監督を招き、イベントを開催いたします。（最新の取材経過をまとめた映像や資料を紹介しながらお話をする貴重なイベントです）

下記(2/6~2/8) 監督個別取材も調整させていただきます。この機会にぜひ取材をご検討ください

① 2月6日(金) 18:30~/文京区・平和と労働センター

「放射線を浴びたX年後」出版記念！

映画の続編最新TV番組「消えない雨」上映&監督トーク！

- ◆料金：事前協力券500円(当日：800円)
- ◆会場：平和と労働センター・全労連会館2Fホール(文京区湯島2-4-4)
- ◆主催問合せ：「X年後」を観る会(090-5548-4296：宮沢さん)

② 2月7日(土) 14:00~/第五福竜丸(実物)船首下にて！

監督と学芸員が最新資料や映像を紹介、事件の深部に迫る！

～企画展「ゴジラと福竜丸」関連イベント～

伊東英朗(監督)×市田真理(展示館学芸員)トークセッション！

- ◆料金：開館中イベント(無料)
- ◆会場：第五福竜丸展示館(江東区夢の島2-1-1夢の島公園内)
- ◆主催問合せ：公財)第五福竜丸平和協会(03-3521-8494)



▼映画「放射線を浴びたX年後」

2004年からほぼ毎年、愛媛県内で放送・継続取材したシリーズを2012年9月に映画化したもので、封切以来、地方劇場公開を経て、完成公開から二年が経過したいまなお全国各地で200回近い上映会や講演が行われるなど展開が続いています。

現役の南海放送ディレクターである監督の伊東は、通常業務の傍ら調査取材を続けながら、各地で開催される上映会トークに招かれては、「当時のことは全く解明されていない。この事件の60年に及ぶ経過を掘り起こし、被ばく者の救済につなげたい。そしてこれからを考える糧にも…」と調査の呼びかけを続けています。

▼昨年2014年、ビキニ被災60周年といわれるなか各メディアも注目

ビキニ被災60年の節目ともいわれた2014年。NHKをはじめ、各メディアがこの事件を取り上げました。本作を鑑賞し、監督に相談にくる記者や作り手も多くいました。監督の伊東は、事件を埋もれさせないためにも協力を惜しまず相談に応じ、資料提供をすることも。



▼ギャラクシー賞はじめ、各賞で取り組み高く評価。昨年末には初の書籍刊行

1度きりのTV番組放映にとどまらず、映画化、上映展開の広がり…と、「事件解明への扉ひらく」映画きっかけの新たな展開が高く評価され、受賞歴はこれまでに11にのびります。また、映画製作時から取り組んでいた書籍化(同名)が、公開から二年越しに講談社から刊行され各メディアで紹介されるなど注目を集めています。

「X年後」受賞歴一覧▼第50回ギャラクシー賞報道活動部門<大賞>▼第40回放送文化基金賞放送文化部門<入賞>▼平成25年度日本民間放送連盟賞特別表彰部門<「放送と公共性」最優秀>▼2012年 第86回キネマ旬報ベストテン<文化映画部門>▼第11回 世界自然・野生生物映像祭<審査員特別賞>▼第30回日本映画復興賞<復興奨励賞>▼第1回グリーンイメージ国際環境映像祭<大賞>▼2012年度 日本映画ペンクラブ・ベスト5<文化映画部門>▼第4回座・高円寺ドキュメンタリーフェスティバルコンペティション部門入賞▼第37回 2012年シネ・フロント読者ベストテン<日本映画部門>▼2012メディア・アンビシャス大賞<映像部門>

2012年/83分/HD-CAM/16:9/カラー/日本/ドキュメンタリー/URL:<http://x311.info>

ナレーション 鈴木省吾/協力 日本テレビ系列「NNNドキュメント」/プロデューサー 大西康司/監督 伊東英朗/製作著作 南海放送 /

配給宣伝協力：ウッキー・プロダクション(猿田) /千代田区九段南4-3-3シルキーハイツ九段南2号館606号室
TEL:03-5213-4933/FAX:-4934/mob:090-2219-7894/Mail:x@x311.info